

ふれあい

大石の福祉

発行：大石学区地域福祉推進会議
編集：大石学区福祉委員会
事務局：大石市民センター内
第24号 平成25年1月15日発行

大石学区の人口 / 5300人 (男 / 2605人 女 / 2695人) 世帯数 / 1913 高齢者 / (65歳以上) 980人

謹賀新年



白鬚神社の日の出(撮影 梅本高男氏)

安全で安心して暮らせる街をめざして



ふれあい給食



絆





『文化祭』

文化祭実行委員長

田中 正春

平成二十四年度も、十一月二・三日に大石市民センターに於いて第三十二回大石学区市民文化祭が開催されました。

前年までの十年間、実行委員長として、技術を駆使され、モニュメント・義民碑、耳だれ不動、大石邸跡等々を中心に開催されてこられた 西章氏の後を引き継ぐにあたり大変なプレッシャーを感じました。

しかし、今回から文化祭をもう一度見直し、原点に戻り、そこから何かを再発見との思いから、実行委員の皆さんの協力のもと、二階大会議室にて作品展示、お茶席。

中会議室では各サークルの発表会。二階踊り場で囲碁教室。屋外では餅つき、朝市、模擬店を開催することができました。当日はあいにくの曇り空で心配しましたが、開催と同時に多くの人に来場して頂き、終日賑わいを見せました。と同時に、風までに模擬店の商品が売れ切れ、ご迷惑をおかけしたことを反省しております。

今後は、会場のスペースの問題もありますが、バザーやフリーマーケット等も取り入れ、多くの方々の参加型文化祭、大石の確固たる秋祭りとなればと思っております。

皆様方のご協力、ご支援のほど、宜しくお願いいたします。



第32回大石学区市民文化祭



大津市社協60周年記念事業の一環として、昨年9月23～25日に実施された宮城県三陸町復興応援バスに参加いたしました。大震災の発生から、約1年半が過ぎた時期でしたが、現地の状況、復興はまだまだでした。港の近くでは、車の残骸が広場に高く積まれており、鉄道の線路は当時のまま手つかずの状態であったりと、今だ復興の槌音は遅々として進んでいないことを実感しました。

そういった中で、宿泊したホテルは当時2階まで浸水し大変な被害のようでしたが、立派に復興し、宿泊客も満員で賑わっていたことは、せめてもの救いと感じました。また、仮設市場は比較的賑わっていました。交流の場では、皆さん様に元気な方々がおられたことには感心いたしました。

南三陸町社協との友好協定の締結式典、交流懇親会への参加は今後の社協活動への貴重な糧となりました。「いま支援から支縁へ」のスローガンのもと互いの社協同士が強い“絆”で結ばれ、今後も側面からの積極的なサポートの必要が大切と考えます。

なお、社協副会長(桜谷民生委員)の 田中 昇氏も、9月7～9日にボランティアバスに参加され、泥上げなどの活動されましたことを報告いたします。またこれらの活動に対し、学区自治連合会よりご支援いただきましたことに対して、紙面を借りて、厚くお礼を申し上げます。



防災・減災に備えての取り組み

大石学区地域福祉推進協議会では、市民センターだよりも連載していますが、災害時、緊急時に備えての機材の常備を進めています。これらの機材は、老人福祉施設リバプールさんのご協力のもと、リバプールさんの敷地内に大石学区自治連の防災倉庫を設置し、そこで保管されています。

また、リバプールさんを始め、学区内の医療関連施設との間に、災害時・緊急時には、在宅の要介護者の方の避難を受け入れていただく協定が結ばれています。その際の非常用食料、水などもこの倉庫に備蓄しております。



その他、可搬式かまど、釜、鍋も保管されています。

順次、必要備品を整えていきます。

24年度に滋賀県共同基金会からの助成をうけて、学区社協で2台購入いたしました。

自治会の紹介(龍門町自治会)



龍門町自治会
会長 中井 正敏

龍門町自治会は、世帯数86世帯で構成しています。

自治会役員は6名で、3月までに新任者3名が選挙で選ばれ4月第1日曜日の通常総会において信任されます。

自治会の事業は、年々、財政面で厳しくなりましたが同時に中身が大切になってきています。平成23年3月に発生した東日本大震災では多くの方々が犠牲になりました。このとき、全ての方は「早く助けてあげたい」と思う気持ちと「どうなるんだろう」という不安にさらされたと思います。あの時の状況を考えると自治会事業の原点は、ここから始まり、終わりのない活動でもあるのではないかと考えています。

大津市南部地区に豪雨による災害が8月13日未明から14日にかけて発生しました。この時も同様に誰も想定できなかったと思います。

龍門町自治会では自治会役員はもとより多くに町民の方が主になり被害場所に走り復旧に努めてきています。

今後、高齢化が急速に進む中、自治会の在り方として、諸活動に於いても助け合う心と、ヒトとヒトの「絆」をより育む環境づくりが重要になると思います。

また、昔から培われてきた文化、歴史を後世に伝えていくことが、私たちの役目でもあるのではないかと思います。

このようなことへの理解を得て、真摯な立場で、ものごとを考える事ができる人材を育成し、活力のある自治会活動にすることが与えられた課題であると考えています。

◆龍門町自治会の主な行事について

1. 春祭り、神輿巡行(歴史・文化に継承)
2. 大津市民清掃と通学路の清掃活動(きれいな町づくり)
3. サマーフェスティバルの開催(町内交流の場)
4. いきいき広場の開催(世代間交流)
5. 敬老会の開催(70歳以上)



サマーフェスティバル



敬老会 和太鼓

老人クラブの紹介 ⑥ 東町

老人福祉の増進を目的として活動する老人クラブをシリーズで紹介しています。

今回は、東町自治会の老人会会長の北田 欽一様にお話を伺いました。

★北田会長様 お忙しいところ宜しくお願ひいたします。早速ですが、当老人会の会員数を教えてください。

☆45名ほどで男性が約10名で他は女性です。60歳以上に入会資格がありますが、60歳代の方は入会して頂けません。会長の私が最も若く最年少の70歳です。

★老人会行事或いは活動としてどのようなものがありますか？

☆佐久奈度神社の清掃が年2回、親睦会と称しての食事会が年1回程度です。男女10名程度のゲートボール愛好者が東町営のゲートボール場でゲートボールを楽しんでおられる。

★老人会から地元自治体にご意見或いはご要望等ございませんか？

☆特にありません。

★会長ご自身の楽しみは？

☆昔はカラオケに熱中したものだが、今はそのカラオケもやらない。

田んぼや畑に精を出している。

★お話ありがとうございました。



老人クラブ 北田会長

私の趣味



桜谷パークタウン
梅本 高男

私も現役を退いて早10年。退職後に退屈せずに楽しく過ごすには、趣味は少なくとも屋内で3つ、屋外で3つ程が良い。と云われてますが退職するまではなかなか決まりませんでした。

幸い、会社のOB会があって入会。そこに若い頃一緒に岩登りをした先輩がいて、何回か一緒に山登りに行くうち、景色や山の記録を写真に撮って楽しんでいることを知った。

デジカメだと撮った後でパソコンを使って現像・画像処理・プリントまで出来る。屋内外で活動でき趣味には一石二鳥でした。

コンパクトカメラからスタートし、物足りなくなっって一眼レフを手にし、何回か買替え、レンズも広角から500mm望遠まで一式揃えた。撮影の仕方、PCでの画像処理の仕方を学び、写真を撮りまくっています。今では、某大病院の壁をお借りして、写真を展示させて頂いたり、石部の平和堂で個展を開いたり、blogを開設、可愛い孫の写真を撮りアルバムに加工するなど、多くの人に写真を見て頂いていることも大きな励み楽しみになっています。

写真をして良かったことは、全国を6回に分け写真を撮りながら旅行し、延べ180日掛け北海道から九州を周れたこと、四季の移り変わりや、いままで気付かなかった足元の身近な変化が見えてきたこと、多くの新たな友達が出来たことが大変良かったと考えています。



佐久奈度神社の春



立木観音下の瀬田川の紅葉



佐久奈度神社下のイチョウ



曾束の川堤の桜



すないの里の梅林



佐久奈度神社下のイチョウ

—生活支援物資のご協力ありがとうございます。—

*大津市社協には、不況による離職などで生活に困窮されておられる市民からの生活相談が多数寄せられています。

例年、皆様方に越冬支援物資のご協力をお願いしています。
大石学区社協も学区民の皆様にご協力をお願いしたところ、市民センターを窓口にたくさんの善意を寄せていただきました。
ありがとうございました。



ありがとうございます。

○浄財のご寄付をいただきました。

- | | | |
|----------------|---|-----------------|
| *チャリティゴルフ参加者一同 | 様 | (7/25、11/24 2回) |
| *京阪カントリー倶楽部 | 様 | (7/25、11/24 2回) |
| *龍門町 老人クラブ | 様 | |
| *がんばカンパニー | 様 | |

ご厚情の意思を尊重して、学区の福祉事業に役立たせていただきます。

○8月14日の集中豪雨に対してお見舞いをいただきました。

- | | |
|-------------|---|
| *瀬田商工会 | 様 |
| *滋賀県町村会 | 様 |
| *大津市社会福祉協議会 | 様 |
| *がんばカンパニー | 様 |

○ふれあい給食の活動に対して、お米の寄付をいただきました。

- | | |
|---------------------|---|
| *公益財団法人 京都新聞社会福祉事業団 | 様 |
|---------------------|---|

■大津市社会福祉協議会より、感謝状を授与されました。

- | | |
|-------------|---|
| *京阪カントリー倶楽部 | 様 |
| *中野 金蔵 | 様 |
| *中西 英四郎 | 様 |

○社会福祉事業のため、浄財を寄付された団体、方々です。

🍃 〇いきいきふれあい広場、ふれあい給食などの社協事業には、
赤い羽根共同募金からの分配金が使われています。 🍃